

岩手県立大学主催事業

令和4年度コンバージェンス@いわてイノベ

*コンバージェンス＝「収斂・融合」。単独でも飛躍的に優れた技術がさらに融合することで、加速的に進歩を遂げる状態

岩手県立大学は、「企業学群」の形成及び「産学公連」共創集積拠点の構築に向け、滝沢市とイノベーションセンター・パークや県内外企業、自治体・研究機関等の一層の連携促進を図る交流の場を提供します。

全体交流会「ふりかえりとわかちあい」@Cafe

【日時】令和5年3月24日（金）17:20—19:00

【場所】PanTech 岩手滝沢店&Zoom

【次第】1. 主催者挨拶 岩手県立大学 i-MOS センター長 佐藤 裕幸

2. 報告：交流の場の提供を目指す「コンバージェンス@いわてイノベ」において、個別のテーマに関し分科交流会で深掘りを行ってきました。今回は「ふりかえりとわかちあい」として、異分野同士の交流を通して何が生まれたか、どんな効果があったのか、それぞれのテーマの参加者から報告していただきます。

(1) スマート農業：ソフトウェア情報学部 講師 南野 謙一 氏

コンバで知り合った岩手大学花巻サテライトや盛岡市内のトマト農家さん、秋田県のほおずき農家さんなどとの出会いや共同研究などに発展したストーリーを語っていただきます。

(2) EV・自動運転：株式会社フロムいわて 代表取締役 野田 尚紀 氏
岩手県立大学 名誉教授 柴田 義孝 氏

TV番組制作会社と最先端通信科学研究という全くの異分野が出会い、寒冷積雪地の盛岡市中心部で初めて「EV・自動運転」実証実験に挑み成功させた体験を語っていただきます。

3. 次年度の計画について

過去2か年にわたり活動を展開してきましたが、コロナウィルスや戦争の勃発など、世界情勢も大きく激動しています。一方で技術革新も目覚ましく進歩を遂げており、イノベーションセンターや県内外企業、行政などとの連携の加速が大学に求められております。

こうした状況に臨んでコンバージェンスを継続するにあたり、大学が担うべき役割や来年度の活動の方針について大学から提案を行い、皆様のご意見をお聞きしたいと思います。

4. 「学生参加の連携によって、企業も大学ももっと良くなる！学生主役の産学公連携の未来を！」
大学と地域企業との連携を考える学生の生の声を聴く機会です。

5. 意見交換会（参加者数によっては、グループ分けで行います）

カフェ（無料です！）を楽しみながら、皆さんで自由に交流しましょう！

【定員】会場 20名、ZOOM 20名

【対象】イノベ、県内外の企業の方や、県大以外の教員・研究者・技術者・学生なども大歓迎！

*会場・Zoomともに、①氏名②所属③職名④会場 or Zoom を記入のうえ、下記担当あてメールでお申込みください。

*Zoom参加の方は、「お名前：所属」を表示、カメラ・マイク Off。途中意見交換への参加時はカメラ・マイクを On にして参加（途中での参加や退室、発言は自由）

<Zoom>

<https://us06web.zoom.us/j/82878432376?pwd=dktKWV3T21sRDQrNnV3VE1XMDIxZz09>

ミーティング ID: 828 7843 2376 パスコード: 881448

主催：公立大学法人岩手県立大学 研究・地域連携本部

担当：産学公連携コーディネーター 三浦 (019-694-3330) i-mos@ml.iwate-pu.ac.jp